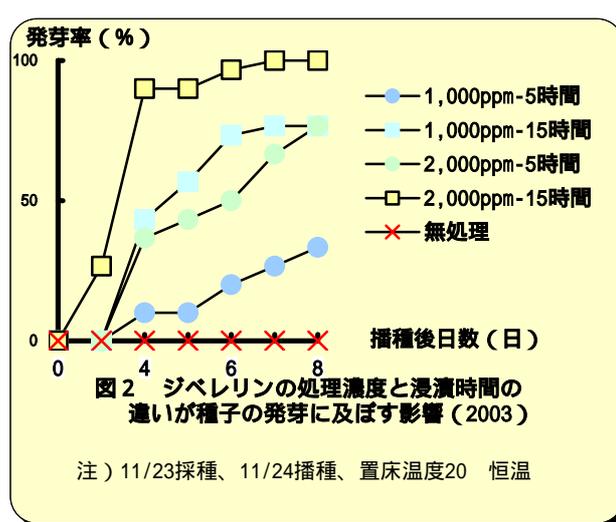
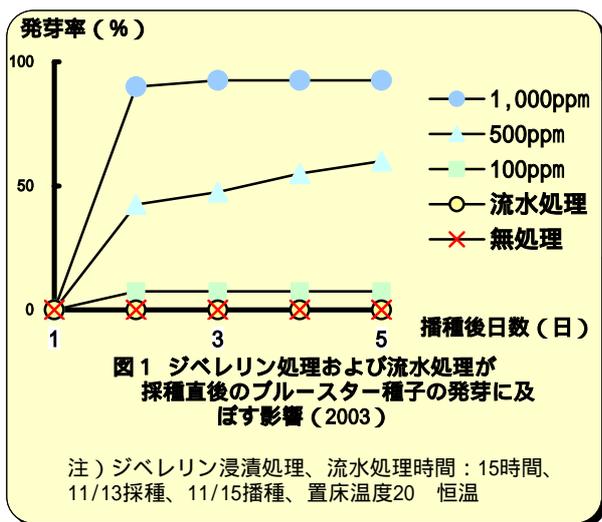


ジベレリン処理による ブルースター種子の発芽促進



ブルースターの栽培では、種子の発芽が不揃いなことが問題となっています。そこで、県内の農家で育成された新品種「ピュアブルー」についてジベレリン処理による種子の休眠打破について検討しました。

採種直後の種子では、ジベレリン処理による発芽促進が認められ、高濃度(1,000

~2,000ppm)で、処理時間が長い(15時間)ほど発芽率が高くなりました。なお、流水処理および無処理では発芽が認められませんでした(図1、2)。今後は、開花時期別の種子の休眠様相を調べるとともに、効果的な休眠打破法を検討していきます。

(花き科 平石 真紀 TEL088 - 863 - 4918)